

1 研修目的

小学校では、休憩時間中に事故（けが）が多く発生していることから、事故の未然防止に向けた校内での安全対策について検討することで、教職員の危機管理意識や資質の向上を図る。

2 研修の概要

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、J S C）が発行した資料を活用し、事故の発生状況や安全対策について理解・検討するワークショップ研修を行い、校内での安全管理体制の構築につなげる。

3 進め方のポイント

- (1) J S Cの資料を活用し、休憩時間中における事故（けが）の特徴や状況について、教職員間で共通理解を図る。
※使用する資料は、児童の学習（学級活動や保健など）にも活用することが可能である。
- (2) 事故の未然防止に向けた安全対策や児童への効果的な安全教育について、お互いに意見や考えを出し合う。経験年数や学年所属等を考慮し、様々な視点から意見や考えが出るよう、各学校の実情に応じてグループ編成を工夫する。
- (3) グループワークで出された意見を集約し、全体で共通理解を図る。日常生活における指導の留意点について確認し合うとともに、各校の危機管理マニュアル等に反映させる。

4 準備物

- 進行スライド（※各学校の実情に応じて修正可能）
- パソコン（タブレット）、プロジェクター、スクリーン（モニター）
- 小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）（J S C）
- パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」（J S C）
- 筆記用具、模造紙、付箋（ホワイトボードや画用紙、Google Jamboard等の活用も可能）



5 研修のイメージ

<導入：ペアでの意見共有>

<展開：グループでの話し合い>

<まとめ：全体共有>



6 研修に参加した先生の声

- データや資料から、小学校では休み時間中の事故（けが）が多く発生しているということを改めて認識した。日頃からの声掛けや安全指導を充実させるとともに、休み時間中の子供たちの様子を注意深く観察したい。
- けがの発生状況や特徴が分かりやすくまとめられており、事故の未然防止に向けて、職員間で共通理解を図ることができた。事故が発生した際の対応について改めて見直し、その内容を危機管理マニュアルに反映させたい。



7 研修の進め方（例）【45分】

時間	内容	進め方	資料等
導入 (10分)	1 ワークシート内の危険な場面について考え、お互いに意見を共有する。 【個人】【ペア】 2 ワークシート(裏面)を使用し、危険な場面について確認する。 【一斉】	○本研修の目的について説明する。 ○ワークシート内の危険な場面について、理由を含めて考えさせる。 ○お互いに意見を共有し、研修に対する意識を高めさせる。 ○ワークシート(裏面)を見ながら、危険な場面について、改めて確認させる。	進行スライド(1-4) 資料1
展開① (10分)	3 休憩時間中に発生している事故の傾向について確認する。 【一斉】 4 事故が発生しやすい「場所」や「状況」を確認する。 【一斉】	○事故の傾向や事例について説明する。 ※自校で発生した事例を提示し、比較することも可能である。 ○事故が発生しやすい「場所」や「状況」について確認させる。	進行スライド(5-7) 資料2 (P2～P4) 自校で発生した事例
展開② (15分)	5 事故を防ぐために必要なことについて、グループで話し合う。 【グループ】	○「防げる事故はないか?」「そのための対策は?」の2点について、模造紙や付箋を用いてグループ内で意見を共有させる。	進行スライド(7) 模造紙、付箋
まとめ (10分)	6 各グループで話し合われたことを発表し、全体で共有する。 【一斉】	○休憩時間中の安全な過ごし方やルールについて、児童の安全指導に生かせるよう、話し合ったことを全体で共有させる。 ○休憩時間中の事故を防止するために、「校内ですぐに取り組めること」を全体で確認する。	進行スライド(8-9) 資料2 (P8)

<活用資料>

○休憩時間の事故防止対策（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

- ・（資料1）小学校向けワークシート（運動場・校庭編、校舎内編）
- ・（資料2）パンフレット「なくそう！休憩時間の事故」



<参考資料（サイト）>

○固定遊具の事故防止マニュアル

～学校（園）における安全教育・安全管理のポイント～
（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

- ・幼稚園、保育所向けのトレーニングカード
- ・小学校向けワークシート

